

## 水上バス・クルーズ船でひと味違う景色

咲き始めた色とりどりの花が告げる春の到来。いよいよ花見シーズンも本番直前だ。ピンク色に染まった桜並木を歩くのもいいが、今年は川面から眺めてみるはいかがだろう。東京や大阪、福岡など各都市で運航される水上バスやクルーズ船がいつもと違った景色を見せてくれるはずだ。

まずは東京。東京都公園協会（東京・新宿）が運営する水上バス「東京水辺ライン」で花見にうってつけなのが「浅草・お台場クルーズ」。墨田区両国から台東区浅草、江東区越中島などを経て中央区浜離宮恩賜庭園、港区お台場海浜公園へと約1時間かけて抜けていく。両岸に桜が並ぶ浅草や越中島あたりが見応えある。

### 大きい窓で ゆったり見物

「桜が咲いていたらもっといいよね」。船上デッキから声を弾ませていたのは福島県いわき市から来た伊達智子さん（50）。神奈川県に住む娘の翔子さん（23）と一緒に乗船したのは開

船内からゆったりと外の眺めを楽しめる東京水辺ライン（東京・隅田川）



花前の17日。「また桜の季節には乗りたい」とうなずき合っていた。

東京水辺ラインの水上バスは140人と200人乗りなどがあり、船上デッキに加えて座席部分もある。大きく窓がとってあり、船内からでもゆったりと景色を楽しめる。

夫と息子の3人で乗船した和田ひとみさん（36）は「船内は机もあり思ったより広々として驚いた。これならお弁当を持ち込んで息子と一緒に花見できそう」と再乗船を誓った。

同クルーズは1日3便の運航で、お花見シーズンの4月9日までは1日2～3便増便する。料金は両国発着場からお台場海浜公園までなら大人が1130円で子どもは半額。便によっては浜

# 船上から花見 夜桜も満喫

離宮や越中島などで途中下船も可能だ。

隅田川では東京都観光汽船（東京・台東）も水上バスを運航している。浅草から港区の日の出橋まで約1時間。4月9

日までは特別ダイヤで「お花見船」「夜桜船」を含め1日15便以上ある。

小型船で岸辺まで近づく楽しみ方もある。

建設技術研究所（東京・中央）などで構成する江戸東京再発見コンソーシアムは定員10人ほどの小型船で隅田川や大横川、小名木川沿いの桜を巡る特別便を27日から4月9日まで運航する。「川幅が狭く桜が間近に見えると好評」（同コンソーシアム）という。料金は茶菓子などがついて3500円から4000円。例年、1月下旬から予約を受け付けているが、今年はずではほぼ満席でキャンセル待ちという。

### 当日券を販売 早めに完売も

東京湾クルージング（東京・江戸川）も27～61人乗りの小型船で大横川や小名木川の桜スポットを巡るコースを運航している。今年から予約を受け付け始めたが、桜の見ごろの時期はほぼ満席。同社の担当者は「当日券も用意している」と言うが、「1～2時間で完売することもある」というから注意が必要だ。

大阪では大阪城のそばを流れる大川（旧淀川）沿いの桜並木を京阪電気鉄道グループの大阪水上バス（大阪市）で楽しめる。50分の通常コースから25分のショートクルーズに加え、ナイトクルーズもある。ライトアップされた川沿いの桜並木がきれいに見えるといい昨年は「平日の夜、お酒片手に乗船される方も多かった」（同社）という。

当日行っても乗船できるがピークの時期は午前中に夕方の分まで完売することもあるという。28日から4月15日までは特



江戸東京再発見コンソーシアムは小型船でクルーズする（東京・日本橋）

別料金で大人2000円だ。

福岡では博多マリン観光（福岡市）が25日から4月8日までお花見船を運航する。福岡市中心部の中洲地区にかかる「福博であい橋」から桜の名所「西公園」の近くまでを30分から1時間で結ぶ。料金は1000円から2000円。30分に1本程度運航しており、夕方から夜が比較的乗りやすいという。

「船上花見」は乗船時間が限られてしまうのが残念といえば残念。だからこそ視界を過ぎる桜を目に焼き付けたい。

（企業報道部 二村俊太郎）



- ▽交通 JR総武線両国駅から徒歩3分、都営大江戸線両国駅から徒歩6分
- ▽営業時間 午前9時～午後5時（チケットの販売時間）
- ▽料金 両国発着のルートは複数あるが、お台場海浜公園往復なら大人2160円、小学生半額
- ▽電話 03・5608・8869